

学校だより



はだのようごがっこう から はだのしえんがっこう 秦野養護学校から秦野支援学校へ

昨年さくねんの四月しがつに白い雪しろに覆おおわれた丹沢たんざわの山やまを背景はいけいに咲さき誇ほこる桜さくらを目めにしてから早はやくも一年いちねんが過ぎすようとしています。今年こんねん度も感染かんせん症しょう対策たいさくを念頭ねんとうに置まいての毎日まいにちが続つきました。修学旅行しゅうがくりょこうや校外学習こうがいがくしゅうはもとより交流活動こうりゅうかつどうやいぶき会活動かいかつどう、授業参観じゅぎょうさんかんなど、多くの行事ぎょうじ並びに学習活動がくしゅうかつどう等らうについて制約せいやくがある中なか、ご理解りかいとご協力きょうりょくをいただき、日々ひびの学習がくしゅうの継続けいぞくができたことは皆様方みなさまのおかげおかげと感謝かんしゃしております。ありがとうございました。

またこの三月さんがつに秦野養護学校はだのようごがっこうを卒業そつぎょうされる皆さんみなへ心こころからのお祝いいわを伝えつたえると同時に、これからの活躍かつやくを祈念きねんしエールを送おくります。「皆さん、これからも笑顔えがで前まえへ進すすんでいってください。いろいろなことが起きるとは思おもいますがきつと乗り越なり越こえていけるはず。いつでも、いつまでも皆さんのことを心こころづいてお見守みまもっています！」

さて、すでに文書ぶんしょにてご案内あんないしているとおりですが、四月しがつより県内けんないの養護学校ようごがっこうの名称めいしょうが使用しようされている学校がっこうは全て支援学校しえんがっこうへと校名変更こうめいへんこうされます。今年度当初こんねんとうしゅの学校だよりがっこうに「安全あんぜんで安心あんしんできる教育環境きょういくかんきょうを構築こうちくし、学校がっこうが笑顔えがであふれるものにしていく。教職員きょうしつじん一同いっとう力を合わせて前まえへ進すすんでいく。」と書かかせていただきましたが、秦野支援学校しえんがっこうへと校名変更こうめいへんこうされる令和5年度れいわねんどもこのことはなんら変わるものではありません。進級しんきゅうされる皆さんみな、入学にゅうがくされる皆さんみなはもちろんのこと、秦野支援学校はだのしえんがっこうが多くの皆さんみなにとってかけがえのない大切なたいせつ、すてきなすてきなや舎やであり続けることができるよう努つとめること、それが我々教職員われわれきょうしつじんの責務せきむと捉とらえています。

そのためにも保護者ほごしやの皆様みなさまをはじめ、地域ちいきの皆様みなさまや関係者かんけいしやの方々かたがたとの「つながり」を深ふかめていくことが重要じゅうようです。多くの学習がくしゅうの場ばがある秦野支援学校はだのしえんがっこうは神奈川病院かながわびょういんや神奈川リハビリテーション病院かながわリハビリテーションびょういん、弘済学園こうさいがくえん、はだのしりつすえひろしょうがっこう、連携・協働れんけい きょうどうのもとに支さえられ、成なり立たっています。また農業指導講師のうぎょうしどうこうしの方かたがた々の指導しどうにより、高等部農園芸班こうとうのうえんげいばんが育てた野菜やさいを給食きゅうしょくの食材じしょくざいとして利用りようすることができ、食育しょくいくにもつながっています。学校運営協議会委員がっこううんぎょうぎぎかいの方かたがた々の尽力じんりきょくにより、地域ちいきとの連携れんけいがより深ふかまり活動かつどうの場ばが広がりました。このように本当ほんとうに多くの方かたがた々に支さえられ、ここまで進すすんでこられた、そしてこれからも進すすんでいけることに感謝たいせつしています。これからも様々な「つながり」を大切たいせつにし、秦野養護学校はだのようごがっこうの歴史れきしに秦野支援学校はだのしえんがっこうとしての新たな歴史あらたなれきしを積み上げてまいります。引き続きどうぞよろしくお願ねがいいたします。

校長 杉崎郁夫

B

今年度こんねんどは、待ちに待まった登校再開とうこうさいかいがありました。2年8か月ねん げつ ひょういんぶりに病院びょういんから学校がっこうに向かう門かどをくぐった10月27日が がつ にち。たくさんたくさんの先生せんせいに声こゑをかけられたり、他部門たぶもんの教室きょうしつからも大おおきく手を振ふってもらったりして、それぞれの表出ひょうしゅつや表情ひょうじょうで嬉あはれが溢あふれていました。まだまだ感染対策かんせんたいさくを講こうじながらではありますが、ICT機器いきを活用かつようし、見たり聞いたり感かんじたりを授業じゅぎょうで経験けいけんしました。また、病棟びょうどうの友だち、他部門たぶもんの友だち、そして保護者ほごしやの方かたがた々ともリモートではありますが繋つながりを持つことができました。これからも今いまできることを工夫くふうしていきながら、一人ひとりの持もっている力ちからを引き出ひしていきたいと思おもっています。

保護者ほごしやのみなさまには、ご協力きょうりょくをいただきありがとうございました。そして、ご卒業そつぎょう・ご進級しんきゅうおめでとうございませう！！

B課程リーダー 角田良子

C

病棟の七夕会やクリスマス会に演奏者として参加、七沢郵便局での作品展示、さらに今年はロボットプログラミング選手権で関東甲信越大会第3位に入賞し全国大会出場と、様々な形で学習の場、発表の場を広げることができました。また、かもめ学級には卒業学年の小学6年生が3名、中学3年生が1名在籍しました。特に中学生は、受験に向けて筆記試験への対策はもちろんのこと、面接練習等進路に向けて頑張る姿は素晴らしかったです。4月から新たな環境へと進学するかもめ学級とすべての卒業生の皆さんへ「勇往邁進」こんな言葉を送りたいと思います。ご卒業おめでとうございます。

C課程リーダー 神保辰男

D

今年度は小学部26名、中学部29名、計55名で修了式を迎えます。あっという間の一年でしたが、生活体制期間中も個別学習を進めるなど、一日一日を大切にして過ごしてきました。皆さんの得意なこと目標にすることを課題に学習を進め、大きく成長する姿をたくさん見ることができました。3月18日(土)には、小学部5名、中学部12名、計17名の皆さんが卒業の日を迎えます。おめでとうございます。今年は卒業式のころ桜が開花するという予報が出ています。昔に比べ開花時期がどんどん早くなっているような気がします。皆さんは自分のペースでつぼみを大きく膨らませ、そしてきれいな花を咲かせてほしいと思います。

D弘済リーダー 山口知江

E

今年度も残り1ヶ月となりました。遠足、修学旅行など校外での活動を経験し、大きく成長する姿が見られた一年でした。卒業式を迎える3年生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。入学時からコロナウィルスの影響で様々な制限がありました。そのような中でもみなさんは一つずつ新たな扉を開けて前に進んでくれました。この3年間でみなさんには素敵な仲間ができたと思います。これからは秦野養護学校での出会い、思い出を大切にして次の場所で活躍してくれることを期待しています。1・2年生のみなさんは4月から新たな学年に進級します。今まで取り組んできたことを継続しながら、新しいことにもチャレンジをしていきましょう。

E高等部リーダー 湯川健太



F

令和4年度も、F末広の教育活動へのご理解、ご協力をいただき、ありがとうございました。保護者の皆様、地域の方々に見守られ、毎日元気に学んだ一年でした。

4月からの一年間で、子どもたちはそれぞれの得意を伸ばしたり、苦手に挑戦したりして、たくさんの成長を見せてくれました。スケジュールを見て行動できるようになった子、トイレに一人でいけるようになった子、給食をたくさん食べられるようになった子、あいさつが上手にできるようになった子…。一人ひとりの成長に、「すごいね!」「がんばったね!」と、笑顔がたくさん咲きました。これからは、子どもたちの笑顔がたくさん咲く毎日を過ごせるよう、教職員一同、力を合わせていく気持ちです。

みなさん、ご卒業、ご進級、おめでとうございます。

F末広リーダー 星野公美

G

今年度は、東小学校・中学校の支援学級の児童生徒と、小学部・中学部は作品交流をおこないました。中学部はオンラインでお互い顔を見ながらの交流もできました。近隣の自動販売機やJA売店での買い物(小学部)、郵便局への書中見舞いハガキの投函(中学部)など、「地域に出る」学習をおこないました。熱中症対策で出かけたのは自動販売機のみになりましたが、校内で模擬体験をしました。高等部の生徒は、将来の生活に向けて現場実習をおこない、進路選択へと繋げることができました。G部門は全員で17名です。この一年間、一人ひとりがいろいろなことに挑戦し、笑顔で仲良く活動している姿が浮かんできます。

3月9日に高等部2名、16日には小学部2名、中学部1名が卒業します。おめでとうございます。新しいスタートですね。在校生のみなさんも4月からの新しいクラスでの学校生活を楽しみにしてください。

G部門リーダー 松尾嘉次